場所　青森県つがる市

面積　23.5ha

活動目的　本地域の湿原環境を維持しながら、地域住民の憩いの場、環境教育などの活動の場を提供することを目的とする。



サイト概要　本サイトは、青森県つがる市に位置し、海岸近くで標高が低いにもかかわらず、低層湿原から高層湿原までに見られる様々な優れた自然植生を有しており、津軽国定公園第1種特別地域にも指定された屏風山地域を代表する優れた自然景観を有する地域となっている。

昭和５８年には、「２１世紀に残したい日本の自然百選」に選定されており、ニッコウキスゲやノハナショウブの大群落を楽しむために県内外から多くの利用者が訪れている。

土地利用の変遷

貴重な湿原景観を農地開発から保全するため、昭和６０年３月に県が本サイトを買上げ、湿原の景観を保全し利用するための対策を講じている。一方で、当湿原の乾燥化が懸念されていることから植生及び地下水の調査を実施しており、平成１８年度には本サイトの自然景観を後世に引き継いでいけるよう管理方針を策定している。また、現在に至るまで地域住民による歩道等の草刈りが定期的に行われるなど、行政だけでなく地域一体となって当サイトの維持管理を行っている。

サイト周辺の環境

湿原周辺には広葉樹や針葉樹の林があり、その中を東北自然歩道が通り自然と触れ合える環境となっている。一方で、近年は周辺地域の開発が進み、太陽光発電所や風力発電所がサイト周辺に見られる。

アピールポイント

本地域の湿原環境を維持するための活動として、申請者による保全管理作業や湿原の水位観測を通年で行っているほか、地元住民らによって、草刈りが年に２回程度行われている。また、自然体験（植物観察、野鳥観察等）の場として、利用されている。

生物多様性の価値

価値（4）生態系サービスの提供の場であって、在来種を中心とした多様な動植物種からなる健全な生態系が存する場

【場の概況】

本サイトは、ニッコウキスゲやノハナショウブの大群落を有しており、これらの鑑賞に県内外から多くの利用者が訪れる。また、自然体験（植物観察、野鳥観察等）の場として、利用されている。

【主な植生】

本サイトは、ミズオトギリークロバナロウゲ群落、カキツバタ群落、ゼンマイーヒョウタンボク群落、ヨシーノハナショウブ群落を有している。

【確認された主な動植物など】

申請区域全体では、以下の動植物が確認されている。このほか、鳥類も確認されている。
植物：イヌイ(*Juncus fauriei*)、ススキ(*Miscanthus sinensis*)、タチギボウシ(*Hosta sieboldii var. rectifolia*)、ノハナショウブ(*Iris ensata var.sponanea*)、カモノハシ(*Ischaemum aristatum var.crassipes*)、ニッコウキスゲ(*Hemerocallis dumortieri var. esculenta*)、ツタウルシ（*Toxicodendron orientale subsp.orientale*）、ゼンマイ(*Osmunda japonica*)、ミズゴケ類(*Sphagnum* sp.)、ムジナスゲ(Carex lasiocarpa var. occultans)、ヌマガヤ（*Moliniopsis japonica*）、ヒメシダ(*Thelypteris palustris*)、クサレダマ（*Lysimachia vulgaris subsp.davurica*）、ヨシ(*Phragmites australis*)、等
爬虫類：アマガエル（*Hyla japonica*）、シマヘビ（*Elaphe quadrivirgata*）、ヤマカガシ（*Rhabdophis tigrinus*）



写真の説明：湿原に咲くニッコウキスゲ



写真の説明：小学生向け自然観察会の様子

サイトの活動計画・モニタリング計画

活動計画の内容

<活動目的>
本サイトの湿原環境を維持管理し、今後も国定公園の優れた自然景観を広く県民に提供すること。

<活動内容>
①湿原内の刈払い：湿原部分（約６ha）について、乾燥化を避けるため８月～１２月の間に刈払い作業を行う。
②巡視活動：県職員や自然公園指導員らによる巡視活動を実施し、盗掘の防止や利用者へ湿原の保護を普及啓発する。
③施設整備：木道や展望台、観察台などの補修を適宜行い、利用者が安全に活動できるような場にする。

<実施体制>
基本的には、申請者である県が中心となり湿原の保全、維持管理を行うものとするが、地域住民らのボランティア活動による維持管理作業を妨げない。

モニタリング計画の内容

【モニタリング対象】
本サイトの湿原部分（約６ha）周辺の環境（植生、水位）を対象とする。

【モニタリング場所】
植生：本サイトの湿原部分（約６ha）周辺
水位：地域内４地点

【モニタリング手法】
・植生調査について、大規模なものは有識者へ委託発注し実施。
・水位観測については、県職員により実施。

【モニタリングの実施時期及び頻度】
・植生調査について、大規模なものは３～５年に一度の頻度で実施。
・水位観測については、月に１回実施。

【モニタリング実施体制】
・植生調査について、大規模なものは有識者へ委託発注し実施。
・水位観測については、県職員により実施。